

フォーミュラリとは

患者に対して、**有効性**、**安全性**、**経済性**などの観点から選択されるべき医薬品集および使用指針

「標準的な薬物治療の推進」

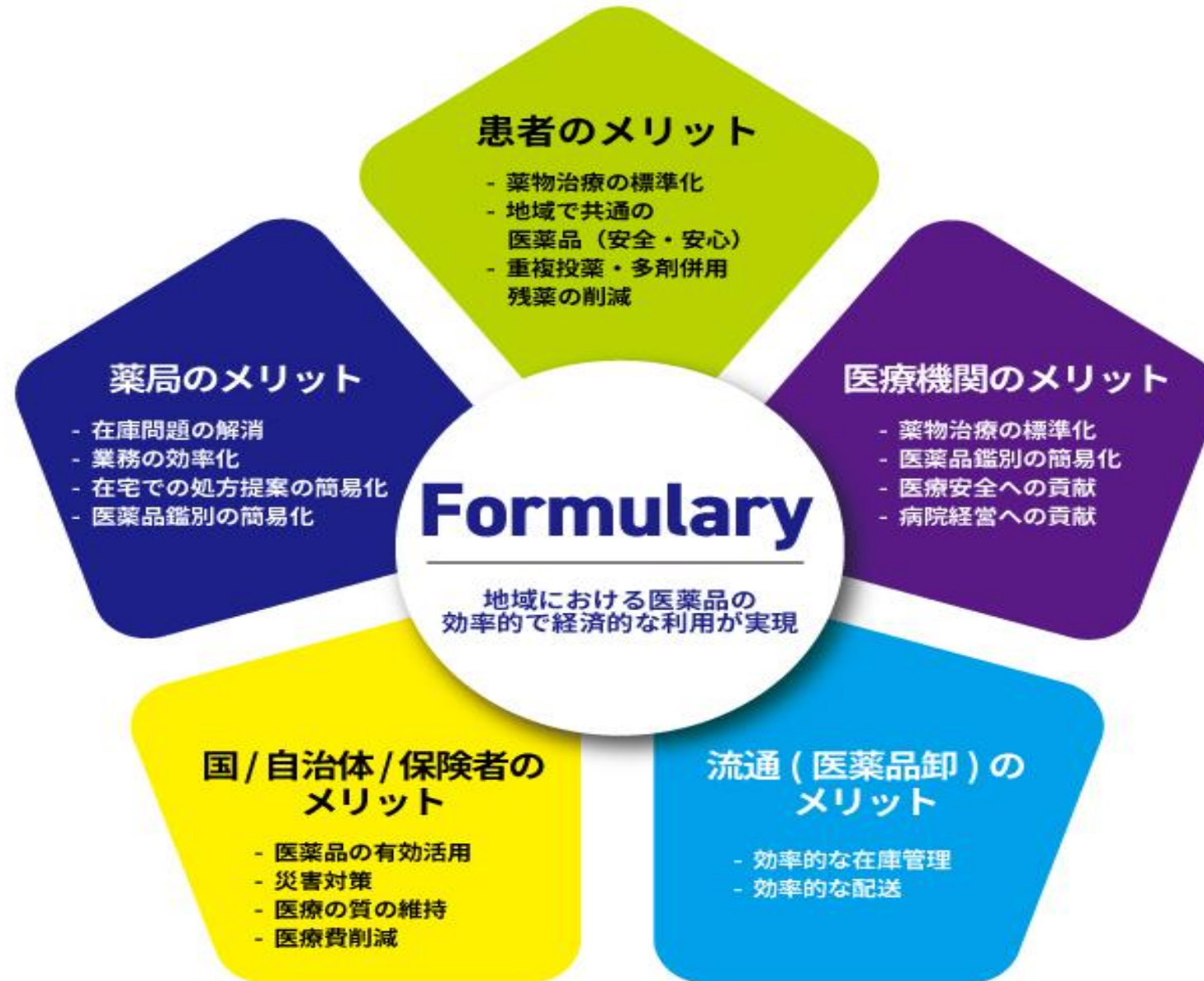
地域フォーミュラの目的

- ◆真の目的は「標準的な薬物治療の推進」であり、それに伴う薬剤費の削減である。
- ◆地域医療において有効性(質)、安全性が担保され、ひいては経済性が優れている薬物治療の実施が重要！

地域フォーミュラを 策定する上での重要事項

- * EBMに則って行う
- * COIの遵守
- * 医師の処方権が侵害されるものではない

地域フォーミュラリ策定のメリット



八尾市地域フォーミュラについて

八尾市地域フォーミュラ委員会が作成した地域フォーミュラは、医薬品の有効性・安全性・経済性等を勘案し、医師が医薬品の選定時に参考として用いる医薬品リストです。これに従うことを医師に強制するものではありません。最終的な処方判断は医師がおこなうもので、医師の処方権は侵しません。

2021年10月

八尾市地域フォーミュラ委員会

八尾市フォーミュラリ委員会 委員名簿

八尾市薬剤師会	会長	森田 圭一
	副会長	篠原 裕子
	副会長	乾 麻衣子
	副会長	豊口 雅子
	理事	田中 直也
	理事	奥村 隆司
	理事	南 雅子
	理事	山添 重子
	委員	竹村 賢司
	相談役(日本フォーミュラリ学会理事)	中野 道雄
八尾市医師会	理事	松田 宗也
	医師会フォーミュラリ検討委員	徳田 貴昭
八尾市歯科医師会	副会長	片山 満幸
八尾市立病院	薬剤科長(八尾市薬剤師会理事)	西岡 達也
	事務局長	小枝 伸行
八尾徳洲会総合病院	医療法人徳洲会薬剤本部長 (八尾市薬剤師会理事) (日本フォーミュラリ学会 モデルフォーミュラリ委員会委員)	大里 恭章
	薬局長	草薙 みか
医真会八尾総合病院	薬剤科長	坂井 寿美

敬称略

八尾市薬剤師会 地域フォーミュラリ策定手順

2024.07

Step1

- ・ 地域フォーミュラリを検討する薬効群(疾患別)を提案する。
- ・ モデルフォーミュラリを参考に治療薬のフローシート(※1)と薬効群の比較表(※2)を作成する。

Step2

- ・ 提案した薬効群について、八尾市薬剤師会の会員薬局に使用量調査を行う。
- ・ 調査結果をもとに、運用による経済的効果等の資料を作成する。

Step3

- ・ Step1・2で作成した資料をもとに、地域フォーミュラリ原案を作成する。

Step4

- ・ 地域フォーミュラリ原案を、ヒアリングシート(※3)とともに、三師会に配布する。

Step5

- ・ ヒアリングシートをもとに地域フォーミュラリ原案を修正し、地域フォーミュラリ案を作成する。

Step6

- ・ 地域フォーミュラリ案を三師会に提出し、承認を得る。
- ・ 三師会で承認を得た地域フォーミュラリ案について、委員会に提出し、承認を得る。

Step7

- ・ 承認を得た地域フォーミュラリを三師会に周知し、運用を開始する。

(※1) フローシート：
疾患に対する薬剤選択
の流れをまとめたもの

(※2) 比較表：効能
効果、用法用量、相互
作用、薬物動態、薬価、
製剤の有用性などをま
とめたもの

(※3) 地域フォーミュ
ラリ ヒアリングシート

地域フォーミュラリアリングシート

問1、別紙（地域フォーミュラリ原案）を運用してもよろしいでしょうか？

- ☐ 運用可能
- ☐ 修正が必要→問2へ
- ☐ 運用不可→問3へ

問2、どのような修正が必要ですか？

問3、運用不可とした理由をご記入ください。

八尾市地域フォーミュラリ運用状況

2021年11月	抗インフルエンザ薬、PPI,P-CAB 初版
2022年 9月	PPI,P-CAB第2版、HMG-CoA還元酵素阻害薬初版
2023年 3月	PPI,P-CAB第3版、アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬初版
2023年 7月	アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬第2版
2024年 5月	第2世代抗ヒスタミン薬 初版
2024年 7月	歯科適応抗生剤 初版
2024年10月	ビスフォスフォネート製剤 初版
2025年 1月	尿酸生成抑制剤 初版
2025年 8月	ヘルペス治療薬 初版
2025年10月	ジヒドロピリジン系Ca拮抗剤 初版
2026年4月	非オピオイド系鎮痛剤 初版
2026年6月	前立腺肥大症治療薬 α_1 受容体遮断薬 初版
2026年6月	歯科領域鎮痛剤(内用剤) 初版